



あいことば 上宇部 2026

～ 「あい」「ことば」を大切にする学校 ～

「しあわせの連さ」

04.22 NO-03

重点取組事項の具現化

令和8年度の学校グランドデザインにおける重点取組事項のうち、「まなび」の領域には「学年や学級を越えた学びの充実」が掲げられています。また、「こころ」の領域には、「縦割り班活動等による異学年協働活動の充実」が位置付けられています。

このような方針のもと、それらを具現化する取組が、5年生と2年生の間で行われました。

<5年生と2年生の合同体育>

4月17日2校時、グラウンドにおいて、5年生と2年生による合同体育の学習が行われました。学習内容は、5年生が「短距離走」、2年生が「走の運動遊び」です。

合同で学習を行うことにより、運動に進んで取り組む態度や、約束を守り助け合っ
て活動しようとする姿勢など、学習態度面での育成が期待されます。

また、5年生が率先して記録を取ったり、2年生の活動の支援をしたりすることで、学習全体が円滑に進みます。さらに、2年生は5年生へのあこがれの気持ちを抱き、5年生は下級生を思いやる気持ちを一層深めるなど、双方にとって意義のある学びの場となっています。

この取組は、従来の「一人の担任が自分の学級の学習を支援する」という形から、一歩踏み出した「学年の担任で学年全体の学習を支援する」取組を、さらに発展させた、「**複数の学年の担任が、複数の学年全体の学習を支援する**」取組であり、本年度のグランドデザインに示されている「全教職員による全児童の支援」を具現化する実践でもあります。

今後も、さまざまなつながりを生かしながら、学年や学級を越えた学びの一層の充実が図られていくことを期待しています。

「がんばれ～」、みんなの応援が大歓声となり、グラウンド中に響きわたっていました。



5年生がてきばきと記録!

